

今日のキーワード「G20首脳会議（杭州サミット）」

「G20首脳会議」は、主要国・地域首脳が集まって、金融や世界経済に関して現状認識を共有化し、将来に向けた取り組みについて確認する会合です。今回は、中国が議長国となり、9月4-5日の日程で、杭州で開催されました。政策協調の強化として、為替に関する共通認識が盛り込まれたほか、鉄鋼の過剰生産能力といった課題に共同で取り組むなどの姿勢が示されました。

ポイント1 中国が初の議長国

- G20（Group of 20）は、G7（フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ）に、アルゼンチン、豪州、ブラジル、中国、インド、インドネシア、韓国、メキシコ、ロシア、サウジアラビア、南アフリカ、トルコ、欧州連合・欧州中央銀行を加えた20カ国・地域のことです。今年是中国が初めて議長国となることから注目が集まりました。

ポイント2 為替に関する認識を共有 過剰生産能力への対応で前進

- 為替に関して「過度の変動や無秩序な動きは悪影響を与え得る」、「通貨の競争的な切り下げを回避する」、「為替レートを目標としない」といった点が再確認されました。為替に関する共通認識を首脳宣言に盛り込んだのは3年ぶりです。米国が引き続きドル高をけん制していると考えられます。
- 注目すべきは鉄鋼を中心とした過剰生産能力に対する対応です。「グローバル・フォーラム」の設立と1年後の進捗報告に対する期待を明記するなど、中国が議長国として、世界的な過剰生産問題へ一歩踏み込んだことは評価できます。

G20杭州サミット首脳宣言（抜粋）

政策協調の強化

- 全ての政策手段（金融、財政及び構造改革）を個別にまた総合的に活用
- 金融政策のみでは均衡ある成長につながらない
- 為替レートの過度の変動や無秩序な動きは、経済及び金融の安定に対して悪影響を与え得ることを再確認
- 通貨の競争的な切り下げを回避することや競争力のために為替レートを目標とはしないことを含む、我々の以前の為替相場のコミットメントを再確認

強固な国際的な貿易と投資

- 鉄鋼及びその他の産業における過剰生産能力が、共同の対応を必要とする世界的な課題であると認識
- 同課題の解決に向け、鉄鋼の過剰生産能力に関する「グローバル・フォーラム」を設立。2017年に同取り組みに関する進捗報告が行われることを期待

（出所）外務省ホームページより抜粋

今後の展開 アベノミクスの再強化が進む可能性も

- 今回の首脳宣言では、全ての政策手段を用いるという考え方が踏襲された上に、「金融政策のみでは均衡ある成長につながらない」としました。日本は財政出動を伴う経済対策を打ち出すなど、アベノミク

スを一段と強化する方向にあります。日銀も、これまでの金融政策の効果を検証した上で、追加の緩和を行う可能性があります。成長戦略の下、財政政策と金融政策の一体化が進むと考えられます。

ここも
チェック！ 2016年 8月31日 最近の指標から見る日本経済（2016年8月）
2016年 8月29日 「低体温経済」を考える（グローバル）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。